


事業名	自然体験活動指導者養成研修Ⅰ ＜糸満会場＞	
実施期間	平成23年6月4日（土）5日（日）	
担当者	企画指導専門職 赤嶺 智郎	

I 事業の趣旨

「小学校の長期自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験活動等の機会を提供するために、青少年の健康、安全等生活に関わる指導や青少年の体験活動の指導補助を行う指導者を養成する。

II 事業の概要

1 事業の目的

実践力のある自然体験活動指導者を数多く養成し、小学校で今後実施される長期自然体験活動の教育効果が高まることを目指す。

2 参加対象及び募集人員

小学校が実施する長期自然体験活動において、自然体験活動指導者として活動・協力することに興味関心のある方70名（18歳以上）

3 参加状況 73名

社会人65名、大学生7名、高校生1名

4 実施上の留意事項

(1) 研修修了者に対して、自然体験活動補助指導者認定を行い修了証を発行する。

(2) 本研修修了者は、自然体験活動指導者研修Ⅱの資格を取得でき、それを受講すると「自然体験活動全体指導者」として認定される。

：自然体験活動指導者養成研修Ⅱ

9月17日（土）、18日（日）

5 活動の様子

1日目＜6月4日（土）＞

(1) 学校教育における体験活動の意義

講師：柳敏晴 氏（名桜大学人間健康学部教授）



＜体験活動法を取り入れた講義＞



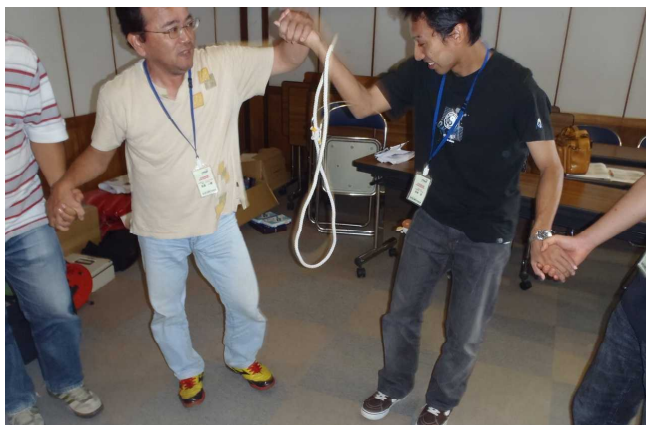
＜アイスブレイキングで仲間づくり＞

(2) 教育課程と体験活動の関連性

講師：柳敏晴（名桜大学人間健康学部教授）



《体験活動について参加者同士で意見交換》



《体験活動法実習：輪を早く送ろう》



《体験活動法後のグループふりかえり》

(3) 自然体験活動の技術（クラフトづくり）

講師：照屋寛信 氏（本所研修指導員）

- ・ガリガリトンボ
- ・鳥笛
- ・ストローを使ったクラフト



《熱心な指導を行う照屋講師》



《身近な素材でガリガリトンボ作成》



《木とねじで鳥笛の作成》

(4) 安全管理の視点と安全計画

講師：張本文昭 氏

(沖縄キリスト教短期大学 准教授)



《実体験を織り交ぜて安全管理を講義》



《豊富な視聴覚資料での講義》



《自然体験活動における安全管理を学ぶ参加者》

(5) 救急救命法の基本技術

講師：琉球水難救済会



《講師はライフセーバーの方々》



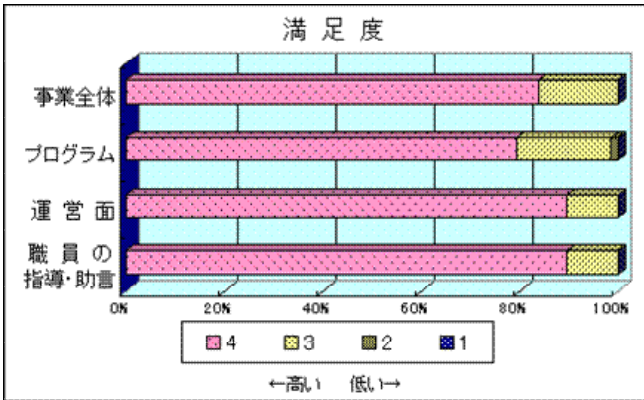
《心肺蘇生法のデモンストレーション》



《繰り返し行うことで、身に付く》

6 アンケートの結果

(1) 満足度



(2) 参加者の声

<良かった点>

- 年齢層が広く周りの人の意識の高さに驚いた。私自身のモチベーションにもつながったので参加して良かった。
 - これだけ多くの他業種の大人が集まっているので色々な情報交換が出来、アドバイスやアイデアをいただけた。
 - 講義内容も聞き放しではなく実際に体を動かしたり等飽きないような内容で進められて良かった。
 - 同じ意志を持った方と交流できたことは貴重な時間だった。指導者として学んだ事は役立てて行きたい。
 - 私のような教員だけでなく、観光業等、多方面からの参加者がおり、交流できて良かった。
 - こんなに素晴らしい事業をしかも無料でやってくださっていることに感謝。学校の先生方はもちろんのこと、子どもに関わる全ての方々が受講すると良いと思う。もっと、宣伝するとよい。
- #### <改善すべき点>
- ▲各地域で（糸満・渡嘉敷以外）の玉城や石川、名護やその他のビーチ等でテーマを設定したセミナーを開催してほしい。
 - ▲もっと実際に生かせる内容、知識を導入すれば、教育関係の方々にも応用できる。

III 成果と課題

1 事業の成果

- (1) 自然体験活動指導者としての基本的スキルの向上を図れた。
- (2) 日帰り、会場を本島内の青少年教育施設としたことで参加しやすくなり、研修参加者が増えた。
- (3) 自然体験活動に興味関心のある方々の情報交換の場となり、指導者間の連携のきっかけとなった。
- (4) 今回初めて琉球水難共済会に救急救命法の講義・実習をお願いしたが、講師の数も多く、実践的な内容で参加者からの評価が非常に高かった。

2 今後の課題

- (1) 小学校の自然体験活動の教育的効果を高めるために、さらに小学校教職員の参加を促進する必要がある。
- (2) 地域の大きな行事（ハーリー）と同日実施だったため、海に関わる方や、教職員の参加が難しかった。来年は旧暦や地域行事も考慮したい。

IV おわりに

今回、補助指導者養成研修を日帰りで実施し、場所についても本島内の青少年教育施設で行った。また、児童館や各種の自然体験施設に直接足を運び広報を行った結果、参加人数も多く、また多業種の参加者があったため、豊かな交流をともなった自然体験活動指導者養成研修ができたと考える。

また、各講義とも自然体験の専門家が、それぞれの得意分野を工夫して講義を行った結果、参加者の評価がとても高かった。

今後も課題や受講者の声を真摯に受け止め、実のある研修を実施し、有能な指導者を数多く育成したい。